

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所太田 I・II、下古井合同地区懇談会) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年8月24日(木) 18:30~19:30

場所:商工会議所3階会議室

参加者(主催者・事務局を除く):会員 35人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆検討に関する経費について

参加者)

理念や考え方だけでなく、検討にあたり発生する公金がどのようになっているかについても市民は敏感になっているので、数字的な裏付けをきちんと示してほしい。

市職員)

旧基本構想および旧基本計画の両方を合わせた委託費としては 3,023 万円を使用していました。人件費は別となります。今後、こういった情報発信についてもどのように出していくのかしっかり検討して、市民の皆様にもご理解いただきたいと考えています。

◆進め方について

参加者)

旧計画の時も、色々な会議やワークショップを行っていた中で、計画が白紙になった経緯や今までの

ように検証されてきたのかがわからない。旧計画から今までの検討にかかった経費を考えると、それこそ税金の無駄使いではないかと思えます。個人的には候補地がどこか等よりも見直しの経緯について、納得のいく説明をしていただきたい。

市職員)

平成28年度から令和3年度途中までの6年弱の期間をかけて策定した、旧基本構想・旧基本計画案が白紙となりましたが、当時、市民の皆様から頂いたご意見は今も残っており、そういった意見も参考にしながら再策定を行っていく考えです。また、検証について、令和4年度に1年間をかけて、庁内で構成した2つのプロジェクトチームでしっかりと検証させて頂きました。その結果、どういった検討の進め方をしているか、ロードマップとしてまとめ、市民の皆さんと共有して進めていこうとなりました。

また、①前は限られた人数からの市民意見であったので、もっとたくさんの市民の皆さんの意見を聞く必要がある②専用のポータルサイトや回覧板等、いろいろなツールを使いながら市民の皆さんと情報共有をして進めることに努めてまいりたいと考えています。

参加者)

ロードマップにおける市民アンケートの役割が大きいですが、前回のアンケートで4000人に対して回収率が45.2%の半分にも届いていない。これを何回もやったところで意味があるのか。

参加者)

民主主義をはき違えてらっしゃらないかと思う。なんで計画を0からにしたのか、今まで策定委員とやってきたことは無駄だったのかと感じます。また、市の職員が仕事する上でやりやすい場所を作りたいという考えも以前の説明会からもありましたが、なぜ0からのスタートなのか。また選挙があれば、検討中として先延ばしにして、職員を付き合わせるほど、市民の関心はないと思う。

参加者)

美濃加茂に住んで子どもを育てていて、前市長時代の新庁舎の説明等も聞いてきたが、予算や水害対策などの議論もされてきていて説明不足と感ずることはありませんでした。関心があるから情報を得ていたということもありますが、3000万の委託費もかけて策定した旧計画を白紙にした理由や誰がどう決めたのかを知りたいと思います。また、水害の心配も身近にあるので、いつになったら計画が進むのか教えてほしい。市民の声をというが、市民はプロではないので、市としてはどうしたいのか筋道を提示してもらわないと、丸投げされているようで困る。

市職員)

旧計画が白紙になった経緯としては、市長選後の第1回定例会で市長が発言された内容に基づいて白紙になりました。実際に、旧基本構想・旧基本計画についてもたくさんの市民の皆さんのご意見を頂いて策定を行いましたが、その後の市民アンケートにおいて、4候補地の中で1つの候補地に決定をしてから説明会を開催した事などについて、進め方に疑問があるといった意見がありました。

◆市役所の役割について

参加者)

文化センターや中体の施設は市民が使う場であるが、市役所は職員の職場なので、きちんと内容を整理して職員が働きやすい場としてほしい。アンケートでもわかっているが、市民の約7割が年に1回程度しか市役所に来ておらず、年に数回と回答した人も合わせると9割以上となる。あくまでも市職員の職場で、サービスとしての窓口で市民が来るということを整理してほしい。

また、市役所ができることによって、賑わいができるかについては4000人のアンケートから考えると市役所の利用回数は少ないが、一方で市役所の設置により周辺の賑わいをもたらすと考える市民もいる。行政として、市役所のロケーションによって賑わいの創出をするようなイメージがあるかどうかお聞きしたい。

市職員)

庁舎は職員が働く場所ということで、昨年度も市民アンケートと並行して職員へのアンケートも取っており、職員が考える新庁舎像もしっかりと受け止めて進めていく必要があると考えている。

賑わいの創出については旧基本構想のコンセプトの中にも入っていました。しかし、昨年度4000人の市民アンケートを行った中で、順位としてはそんなに高くない結果となっています。したがって、こういったコンセプトについても9月下旬に行う、ロードマップ STEP2・3のワークショップの中で賑わいについて、市民の皆さんの意見を確認していきたいと考えています。

◆議会との関係について

参加者)

新庁舎に関して、議会との関係はどうなっていますか。

市職員)

議会にも「新庁舎建設特別委員会」が組まれていて、市役所側から情報を提供させて頂いたり、議員の皆様からご意見を頂くということが続けています。特に、昨年度の見直しに関する検証やロードマップを作成する段階で今後の進め方について全部説明させて頂いて、ここまでよく頑張ってくれたという議員さんもみえますし、市民の関心が向かないことについて厳しいご意見も頂いているところであります。そういった中で、市長はアンケート回答率 45.2%の回答されない方をどう振り向かせるかを考えてほしいといわれています。年齢層によって、広報誌で見る方もいれば SNS で見る方もいるので、こういった情報提供が一番いいかを我々も考えて、色々な情報提供をしながら、中学生や高校生といった未来の美濃加茂市を担っていただく子にも声をかけて頂いています。また、その子たちが家庭で話すことで無関心だった人たちにも振り向いてもらうこともできないかと、今、必死になっています。ただし、どれだけ市民の方と話しても、土地の取得費やレッドゾーンで難しい等、市民の方々からのご意見だけでは 1 か所に絞ることはできないと思っています。そういった市民の皆さんからは見えづらいところをしっかりと行政が見極めて、複数の候補地から市民の皆さんに選んでいただく、ということを行政の責任としてやっていかざるを得ないと思っています。そこで、複数候補地をどこにするのかを決めていく情報として、皆さんと意見交換をしていきたいと考えています。

参加者)

市民の声とあるが、市民の声を代表するために議員、議会があるのではないか。

市議会議員)

議員になった当初に、現庁舎について、大きな地震が来た時に建物は壊れないが、天井が落ちてきたりとか、職員の命は守れないと説明を受けています。庁舎は職員が働く場ということや場所や災害、金銭的なメリット・デメリットも考慮して、旧計画では方向性を決めておりました。今回、市民の皆様への説明不足を理由に白紙にされましたが、最終的に議決をするのは議員だと思しますので、アンケートの結果や直接、皆様の意見や市職員の意見を聞いて、自分たちで判断していきたいと思えます。

◆検討期間中の災害対策について

参加者)

スピード感があまりにないのではないかと。長く検討するほど経費もどんどん膨らんでいる。可児市が古くなった商業施設に図書館を増設するというプランを見て、なんて頭が柔らかいのだろうとびっくりしました。現庁舎はお尻に火がついているくらい古い建物で、明日地震があったら市役所が使えないとなったら困るにもかわらず、何年もかかるスケジュールで市民の意見を聞いているが、もし有事の際、現庁舎が使用できなくなった場合の市役所の代替を考えていたりするのか。

市職員)

現庁舎は62年が経過した建物で、県下21市の中で最も古い建物になっております。耐震工事は行っているのですが、震度6強がきても、いきなり倒壊はしないと思っております。ただ、熊本地震のように、震度6が来て、その後また余震で震度6が来るような、我々の想像した以上のものが来たら、耐えられるかは、かなり疑問符がつくと思えますし、建物、いわゆる箱物は耐えたとしても、設備が使えなくなる恐れがあり、災害拠点として機能することは難しいと思っております。そのため、文化の森2階の情報学習室で、代替ができるように、設備を整えさせていただきました。自家発電装置も付けておりますので、いざ、現庁舎が使えなくなった時には災害拠点とする準備を進めさせていただいております。ただ、先ほどお話しされたように、あまりにも時間がかかるのではないかとのご意見について、私も同感ですので、少しでも早くやっていきたいと思っております。市長の考え方と市民の考え方がすり合ったところで、いかに早くできるか、事務局としては常に最短のスケジュールで動いておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

◆市民の関心について

参加者)

なぜ新庁舎について関心・興味のない方がたくさんいるか、どう認識されていますか。

市職員)

アンケートの中でも、市役所に年に1回しか来ない、あるいは市役所って行ったことがないという人が結構お見えになっていて、そういったところが無関心・興味がないというところに繋がっているのだと思えます。

参加者)

人は目に見えないと魅力を感じることができないと思うので、決定案や固まった案でなくても良いので、こういったものを考えているとか、まだまだ使える空き家を活用するとか、前回の検討時に示していたように、写真などで見える化した案を市役所の入り口や放送などで見えるようにしてもらえるとワクワクすることができると思う。

市職員)

前回行っていたような、パースや写真を使った周知を今回もやっていないといけないと思っています。

参加者)

なぜ同じことを繰り返すのかが理解ができません。

◆太田南地区の発展について

参加者)

旧計画で、太田南地区に新庁舎をつくるということで、商工会としても昔の賑わいを取り戻そう、組合を作って頑張ろうと夢や構想を描いた中で白紙となった。旧計画であった前の駅前通りのところでだめなのか。

参加者)

今までも色々な政治家の方たちが太田南地区の再発展を謳われてきたが成功してこなかった。美濃加茂市にはたくさんの地区があるが、それぞれの町に役割があると思うので、美濃加茂市として街をどうしていきたいのか方針を出してほしい。

参加者)

旧基本計画で決まっていた駅前にできるだろうなと思っていた人、太田の町の活性化を期待した人はたくさんいるので、白紙にしたのであれば、今後、どのようにしていくのか、コンセプトや指針を示してもらわないと関心度も下がってしまう。

◆現庁舎について

参加者)

現庁舎が岐阜県最古の庁舎なのであれば、それを売りにしてもいいのではないかな。天井が落ちるのであれば、落ちないように変えればいいのではないかな。新庁舎建設に多額のお金がかかるのであれば、岐阜県最古の市役所として現庁舎を残して売りにすることもできるのではないかな。

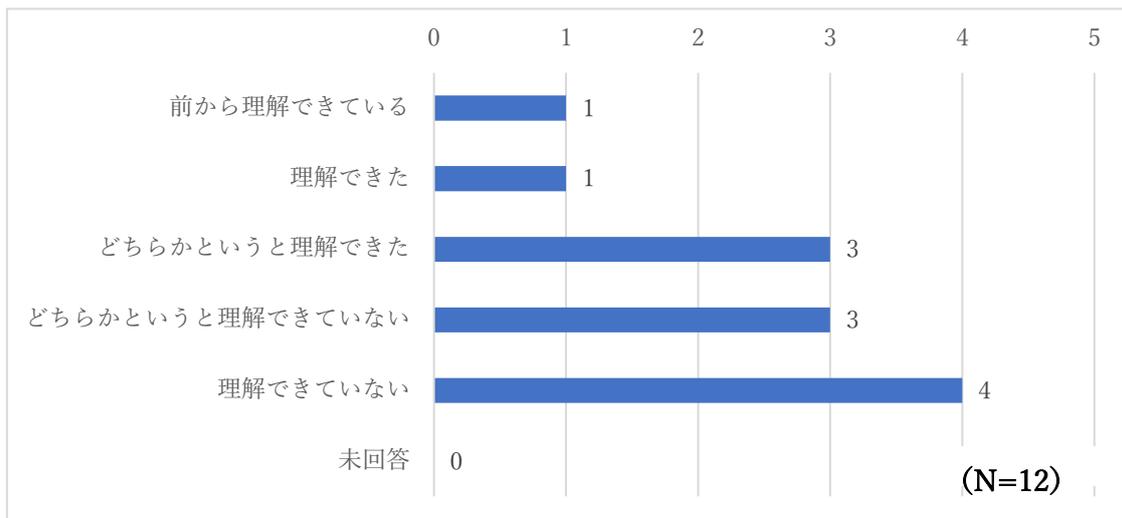
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 12名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できていない」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」、「どちらかという理解できていない」が続いた。

	回答者数【N=12】
前から理解できている	1
理解できた	1
どちらかという理解できた	3
どちらかという理解できていない	3
理解できていない	4
未回答	0
合計	12

図1. 新庁舎整備の理解について

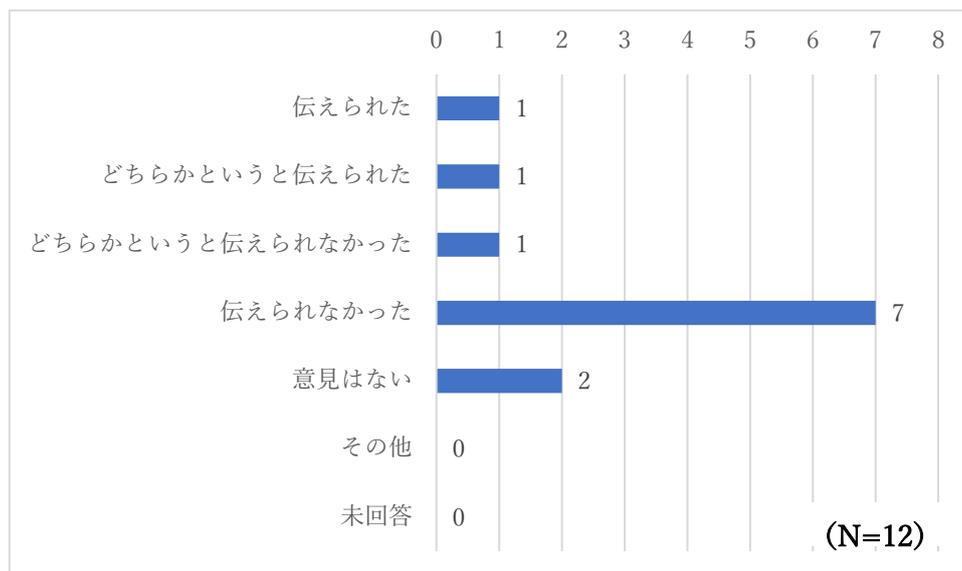


問 2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられなかった」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=12】
伝えられた	1
どちらかという伝えられた	1
どちらかという伝えられなかった	1
伝えられなかった	7
意見はない	2
その他	0
未回答	0
合計	12

図 2. ワークショップでの意見について

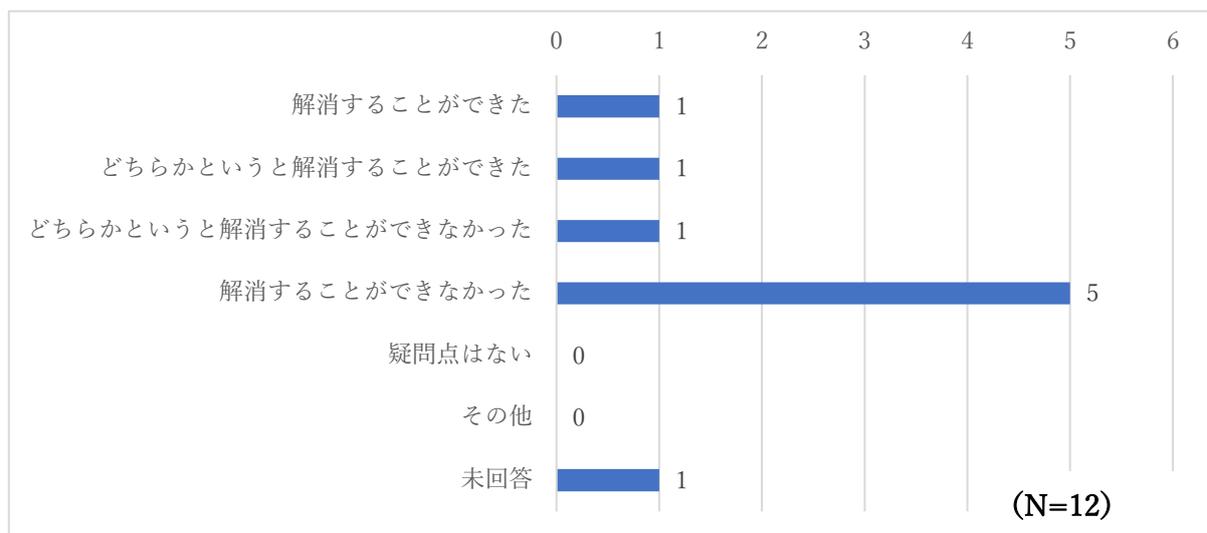


問 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「解消することができなかった」が最も多く、次いで「解消することができた」、「どちらかというと解消することができた」、「どちらかというと解消することができなかった」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=12】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	1
どちらかというと解消することができなかった	2
解消することができなかった	7
疑問点はない	0
その他	0
未回答	1
合計	12

図 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？



○問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。(自由記入)

◇自由意見

- ・市長の白紙撤回の理由
- ・何故白紙に戻して0からになったのか。

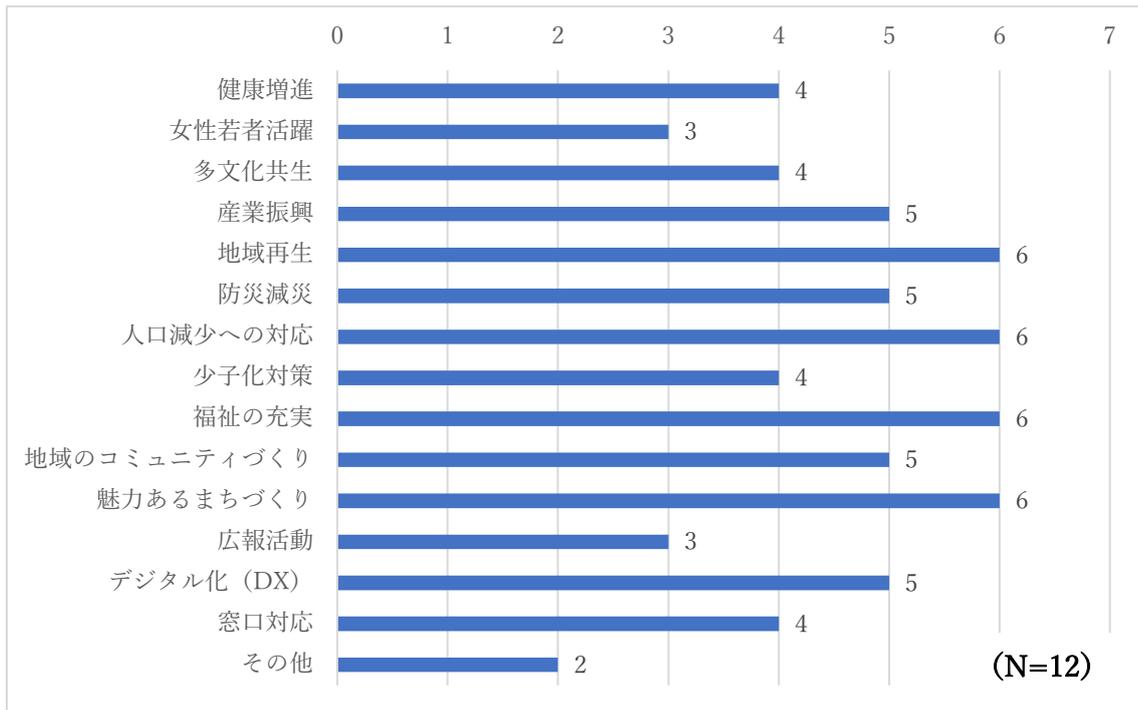
問 4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？(複数回答)

「地域再生」、「人口減少への対応」、「福祉の充実」「魅力あるまちづくり」が最も多く、次いで「産業振興」、「防災減災」、「地域のコミュニティづくり」、「デジタル化(DX)」が続いた。その他の意見で、全ての項目が思い浮かぶという意見もあった。

	回答者数【N=12】
健康増進	4
女性若者活躍	3
多文化共生	4
産業振興	5
地域再生	6
防災減災	5
人口減少への対応	6
少子化対策	4
福祉の充実	6
地域のコミュニティづくり	5
魅力あるまちづくり	6
広報活動	3
デジタル化(DX)	5
窓口対応	4
その他	2
合計	68

※複数回答有

図4. 「市の役割」について



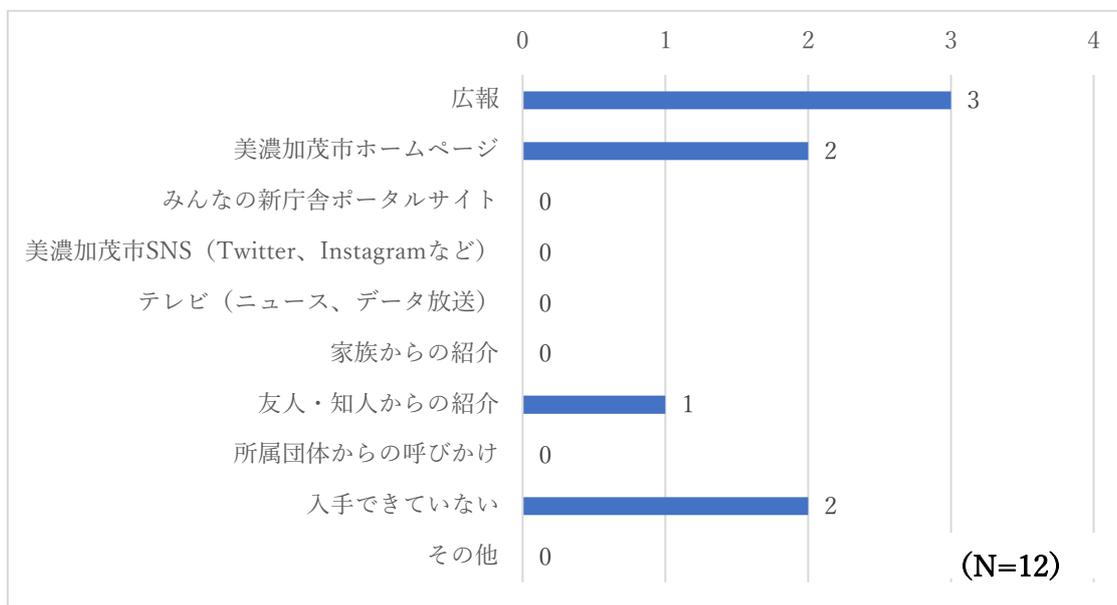
問 5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」、「入手できていない」が続いた。「友人・知人からの紹介」という意見もあった。

	回答者数【N=12】
広報	3
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
所属団体からの呼びかけ	0
入手できていない	2
その他	0
合計	8

図 5. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について

※複数回答有



問 6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記入)

◇自由意見

- ・庁舎移転と街の賑わいは別物です。市議会議員の話も耐震の事を挙げていたが、何処に移そうが同じ事なので解っていらっしやらない。時間の先延ばしは止めお尻の日にちを決めて事にあたっていただきたい。
- ・とにかく早く作って欲しい！！アンケートワークショップやりすぎ。
- ・「市民みんなで検討しているよ」感の見え見えのアリバイ作りはもういい加減やめて、スピード感もってやれよ！
- ・新庁舎整備委託料についてワークショップ初回に伝えるべき！！
- ・スピード感がない